

徳川大坂城東六甲採石場 400 年記念事業 事業内容報告

令和 4 年 3 月 31 日
社会教育部生涯学習課

1 事業概要

令和2年(2020年)が1620年の徳川大坂城の築城開始からちょうど400年に当たることを機に、築城に伴う石丁場跡の一つ・「徳川大坂城東六甲採石場」が分布する本市において、その学術的価値や魅力の普及・啓発を目的とする記念事業を実施。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和2年度⇒3年度へ実施年度を変更

2 実施内容及び成果

(1) 市広報誌『広報あしや』での特集

・令和2年7月号『広報あしや』の1・2・3面において、特集を掲載した。

(2) J:COM 広報番組『あしやトライアングル』での特集

・令和3年4月後半において、特集を放映した。

(3) 子供向けワークショップ「刻印石の拓本を採ってみよう!」の開催

- ・令和3年8月4日(水) 午前・午後各1回ずつ開催
- ・対象:市内在住の小学校3年生~中学校3年生
- ・参加者数:6名(4名+同伴保護者2名)

(4) ワークシート「『刻印石』の消しゴムはんこをつくってみよう!」の配布

- ・在宅で各自実施できるワークシートを作成し、配布
- ・ホームページにPDF掲載のほか、課窓口・美術博物館・三条文化財整理事務で配布。
- ・市広報 FB・美術博物館 Twitter にて周知

(5) オンライン記念講演会

- ・YouTubeで3本の講演動画(各60分程度)を無料配信。申込不要
- ・配信期間:令和3年12月28(火)~令和4年1月17日(月)≪3週間≫

	講演者名	講演者所属等	講演タイトル	視聴回数
講演 1	中井 均	滋賀県率大学名誉教授	豊臣大坂城から徳川大阪城へー石垣構築技術の変遷ー	1,254

講演 2	先山 徹	NPO 法人地球年代学ネットワーク・ 地球紙研究所ジオネットマネージャー ／兵庫県立大学大学院地域資源マ ネジメント研究科客員教授	六甲山麓の地形と石材— なぜ花崗岩のことを『御影 石』と呼ぶのか—	825
報 告	竹村忠洋	芦屋市教育委員会学芸員	徳川大坂城東六甲採石場 の調査	876
	森下真企	西宮市学芸員		

延べ**2,955**人が視聴

(6) オンライン講座

・配信期間:令和4年3月7(月)~令和4年3月28日(月)《3週間》。

	講演者名	講演者所属等	講演タイトル	視聴回数
講座	白谷朋世	芦屋市教育委員会学芸員	芦屋市の徳川大坂城東六 甲採石場—発掘調査から みえてきたこと—	337

。

(7) 現地見学会

- ・令和4年3月19日(土)13時30分~15時
- ・申込者数:14名
- ・参加者数:12名

(8) パンフレットの刊行

- ・令和4年3月31日刊行
- ・発行部数:10,000部
- ・ページ数:8ページ